

直近の科学技術・学術研究情報や研究公募情報がまるわかり

「科学新聞デジタル版」 「Science News Weekly (SNW)」

セット購読が
超お得です

「科学新聞デジタル版」

- 毎週金曜日に最新号がアップされ、新聞をPDFで読むことができるサービスです。
- 過去1年分の新聞を無料で読める!

「Science News Weekly (SNW)」

科学技術分野の情報提供を目的とした会員制情報配信サービスです。科学新聞社に集まる科学情報(国内の大学や研究機関・行政機関・企業・団体の最新ニュースや・研究公募情報など)を週1回・月曜、年48回配信します。

「科学新聞デジタル版」と「Science News Weekly(SNW)」を同時購読でお申し込みいただくと、SNWがサービス購読できます。それぞれ単体での申し込みよりも、お得な料金プランです。

▶購読の詳細・サンプル・申し込みはこちら
<https://sci-news.co.jp/subscribe/>



デジタル版・SNWセット



デジタル版



SNW

 **科学新聞**
The Science News

お申し込み／お問い合わせ

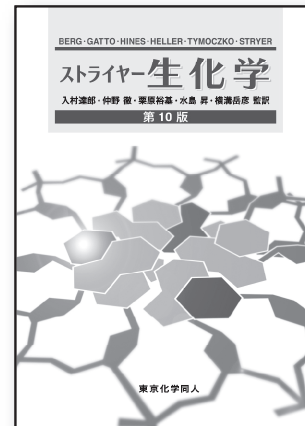
株式会社 科学新聞社 営業部 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-2-13 江口ビル別館

TEL. 03-3434-3741 E-mail: eigyo@sci-news.co.jp



世界的名著 7年ぶりの日本語版改訂

Berg・Gatto・Hines・Heller・Tymoczko・Stryer 著



ストライヤー 生化学 第10版

最新刊

入村達郎・仲野 徹・栗原裕基・水島 昇・横溝岳彦 監訳

A4変型判 カラー 964ページ 定価14960円

最新の研究成果を反映して、
内容をアップデート!

臨床応用のコラム記事も約100項目あり

【新版で加えられた最近の進歩と発見】

- 単一分子レベルにおける結合現象
- AlphaFoldの開発
- 糖鎖構造と糖タンパク質の役割
- バイオ医薬品 など

希望の オールインワン専門書 基礎理論をこの1冊で!

分子動力学シミュレーションの 基礎理論

バイオ分野への応用も記載

理解を深める
プログラムと動画付き

松林伸幸 編

A5判 296ページ 定価5280円



東京化学同人 〒112-0011 東京都文京区千石 3-36-7 TEL: 03-3946-5311 E-mail: info@tkd-pbl.com 定価は10%税込

学会関連製品紹介

共焦点イメージングを次の次元へ ～Transforming Precision Imaging～

エビデント

エビデント（東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス）の共焦点レーザー走査型顕微鏡FLUOVIEW™ FV 4000＝写真＝がイメージングを変革する。

先進的イメージング技術が、より高精度な画像取得を可能にし、研究者にさらに信頼性の高いデータを提供する。エビデントが開発した革新的なSiVIR™ディテクターは、SiPM (Silicon Photomultiplier、シリコン光増倍器) と、エビデント独自の高速信号処理技術「SiVIRプロセッシング」によって実現した。半導体センサーで

あるSiPMは、ランダムに入射する光子を同時に検出することができ、その出力信号から検出光子数を読み取るができる。エビデント独自開発のデジタルプロセッシング技術と組み合わせることで、検出された光子の数を正確に計数することが可能だ。非常に微弱な蛍光から、2000 photon/2μsといった明るい蛍光まで高いリニアリティで、高ダイナミックレンジのイメージングが可能になった。これにより、共焦点レーザー走査型顕微鏡FLUOVIEW FV4000は、簡単に効率よく、高品質で定量的な画像データを可能にする。

また近年、蛍光顕微鏡イメージングによるデータの信頼性は、Nature Metho

dsの特集記事や、ISO 21073の制定等により注目を集めている一方で、管理者の負担は非常に大きくなっていった。そこで同社は蛍光定量時に変動しうる性能をモニターするソリューション「顕微鏡性能モニター」を提案し、導入後もユーザーが安心して使い続けられるようサポートを提供している。

同社は「機器導入の際にはぜひこちらまで検討ください」とコメントしている。



らバッフル板に向けてスムーズな一様流を形成する。

LIGARE [リガーレ] 低風速式は、このように安全性を確保するとともに、エネルギー消費を抑えた低風速で空調コストの削減を図る。

▽外装：スチール（粉体焼付塗装仕上げ）▽内装：耐薬品性ボード（ノンアスベスト不燃材）▽サッシ：透明強化ガラス6ｾﾐ・バランスウェイト方式▽作業面：エポキシ・セラミック・ホーロー・ケミテクト▽ユーティリティユニット：PVC▽給水栓：遠隔操作式×1個▽コンセント：AC100V15A2連アース付×2個▽照明：LED照明<同製品に関する問い合わせ先>オカムララボラトリー営業部（電話03-6627-6020）

オカムラ

オカムラ（横浜市西区北幸1-4-1）のLIGARE [リガーレ] は、コンパクトなモジュールでありながらも、業界最高水準の作業スペースを確保したヒュームフードである。作業性を損なうことなく、スペースを有効に利用することができる。

LIGARE [リガーレ] 低風速式＝写真＝は、プッシュプル型換気装置の性能がさらに進化した省エネルギータイプのヒュームフードである。「PUSH AIR（プッシュエア）」により、フード内部のガスの滞留や外乱等による漏洩を防止する優れた「封じ込め性能」を実現した。

最高水準の作業スペース確保
省エネ低風速で空調コスト削減

新開発のスラッシュスリットは、バッフル板の中央にスリットを設けることで、フード内の気流を層流状態にする。また、気流の影響を受けやすい天板面や側面の凹凸をなくし開口面か

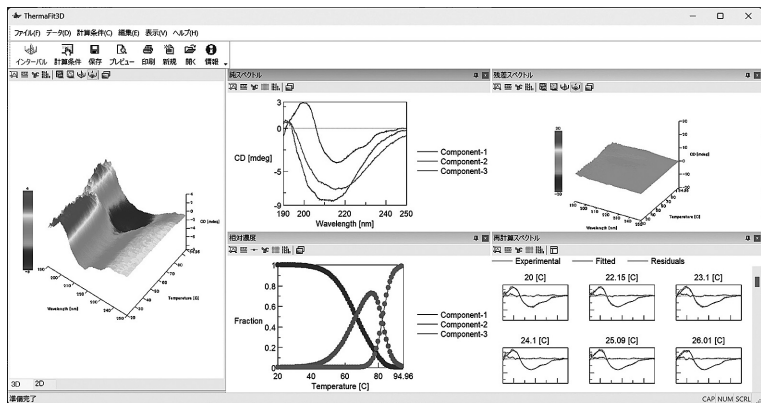


核酸の高次構造解析

日本分光

日本分光（東京都八王子市石川町2967-5）は2025年9月、核酸の熱変性過程において、どのような高次構造がどの比率で存在するかを明らかにする解析ソフトウェア

「ThermaFit3D」をリリースした。核酸医薬品や機能性核酸の分野では、高次構造が機能発現や安定性に直接関与することが知られており、構造種の種類や比率の把握は研究開発から製造工程までの重要な評価指標となる。円二色性（CD）分散計は、核酸の高次構



「ThermaFit3D」プログラム

特許技術採用
従来説覆す成果も

造を識別し、温度依存的な構造変化や安定性を非破壊的に評価できる有力な手法である。

「ThermaFit3D」には、日本分光が新たに開発した特許技術である『熱力学モデルを拘束条件としたMCR-ALS』が採用されている。温度変化を伴う全波長CDスペクトルを解析対象とし、得られた測定データを最大限に活用することで、「純成分スペクトル」および「各純成分の濃度分布」に加え、「各相転移の熱力学的パラメータ（T_m、ΔH、ΔS）」を定量的に解析できる点が大きな特長である。

従来、単一構造であると想定されていた核酸試料においても、複数の構造が共存し、温度条件に応じてその比率が変化することが「ThermaFit3D」により明らかにされた例が報告されている。

核酸の構造安定性や機能制御の研究者にとって、「ThermaFit3D」は高次構造解析の新しいスタンダードツールとなるだろう。

各賞表彰

第98回日本生化学会大会では4日、第2会場で柿内三郎記念奨励研究賞、奨励賞、JB審査員賞、JB論文賞の授賞式と受賞講演が行われる。各賞の受賞者と研究題目は次の通り。

柿内三郎記念奨励研究賞

矢吹錦氏（熊本大学大学院生命科学研究科准教授「RNA隔離による神経性機構の解明」）
小坂田拓哉氏（東京科学大学大学院生命工学院特任准教授）「脳視察上核が司る多様な情報伝達機構の解析」

奨励賞

小嶋良輔氏（東京大学大学院医学系研究科准教授「生体分子のエンシニアリングを基盤とした生体機能の可視化・理解・制御」）
櫻木崇晴氏（大阪大学大学院理学部理学研究センター特任助教「リン脂質スクラフラーの作動原理」）
藤田宏明氏（京都大学大学院医学研究科助教「鉄導性フエロトキシンのメカニズム解明」）
夜久圭介氏（富山大学大学院医学系准教授「メタボリックシンドロームのNAD+代謝の包括的解析」）
藍川志津氏（東京大学医学部附属病院特任研究員「脂質シグナルが制御する胚着床のメカニズム」）

JB審査員賞

竹内理氏（京都大学大学院医学研究科教授「免疫調節」）
齋戸大介氏（昭和大学医学部講師）
平田祐介氏（東北大学大学院理学研究科准教授）
神原正敏氏（理化学研究所生命機能科学研究センター上級研究員）
石原孝也氏（鳥根大学医学部准教授）

JB論文賞

杉山成明氏（九州大学大学院医学系学府）、中山敬一氏（東京科学大学総合研究院高等研究府教授）ら「Identification of effective CCR2 inhibitors for cancer therapy using humanized mice」
川上聖司氏（東京大学医科学研究所）、中西真氏（東京大学医科学研究所教授）ら「Intracellular acidification and glycolysis modulate inflammatory pathway in senescent cells」
青木裕一氏（東北大学東北メディカル・メガバンク機構）、山本雅之氏（東北大学東北メディカル・メガバンク機構教授）ら「Whole blood transcriptome analysis for age- and gender-specific gene expression profiling in Japanese individuals」
Mohammad Mamun Sikder氏（香川大学医学部）、上田夏生氏（香川大

学医学部教授）ら「PLAAT1 expression triggers fragmentation of mitochondria in an enzyme activity-dependent manner」

山口史明氏（福山大学大学院薬学系学府）、赤崎健司氏（福山大学薬学部教授）ら「Comparative study of the steady-state subcellular distribution of lysosome-associated membrane glycoprotein-2 (LAMP-2) isoforms with GYXXΦ-type tyrosine-based motifs that interact differently with four adaptor protein (AP) complexes」

前田昂樹氏（弘前大学弘前大学院農学生命科学研究科）、森田英嗣氏（弘前大学農学生命科学部准教授）ら「The incorporation of extracellular vesicle markers varies among vesicles with distinct surface charges」

大橋祥子氏（横浜市立大学大学院生命医科学研究科）、高倉大輔氏（横浜市立大学大学院生命医科学研究科特任准教授）、川崎ナナ氏（横

浜市立大学大学院生命医科学研究科教授）ら「Comparative Analysis of Site-Specific N-glycosylation of LAMP1 from Breast Cancer Tissues」

Tamara Ginevskaja氏（九州大学大学院医学研究科）、神吉智丈氏（九州大学大学院医学研究科）ら「Comprehensive analysis of non-selective and selective autophagy in yeast atp mutants and characterization of autophagic activity in the absence of the Atg8 conjugation system」

松原一樹氏（福岡大学大学院理学研究科）、倉岡功氏（福岡大学理学部教授）ら「Structure-specific DNA endonuclease T7 endonuclease I cleaves DNA containing UV-induced DNA lesions」

坂田和樹氏（京都大学大学院農学研究科）、木村泰久氏（京都大学大学院農学研究科准教授）ら「The ATPase activity of ABCA1 is increased by cholesterol in the presence of anionic lipids」

日本生化学会創立100周年記念 市民公開講座

「いのちのこれから」12月7日に東大で

よく解る 実験プロトコル

「解らない」が「解る」喜び。

実験方法・製品の使い分け・使用例・注意点・トラブルシューティングなどを合わせて掲載した4種類の「よく解る実験プロトコル」を用意しています。

資料請求（無料）はこちら

よく解る実験プロトコル

価格・納期のご照会
0120-489-552

製品に関するご照会
URL: <https://www.nacalai.co.jp/contact/>
TEL: 075-211-2703

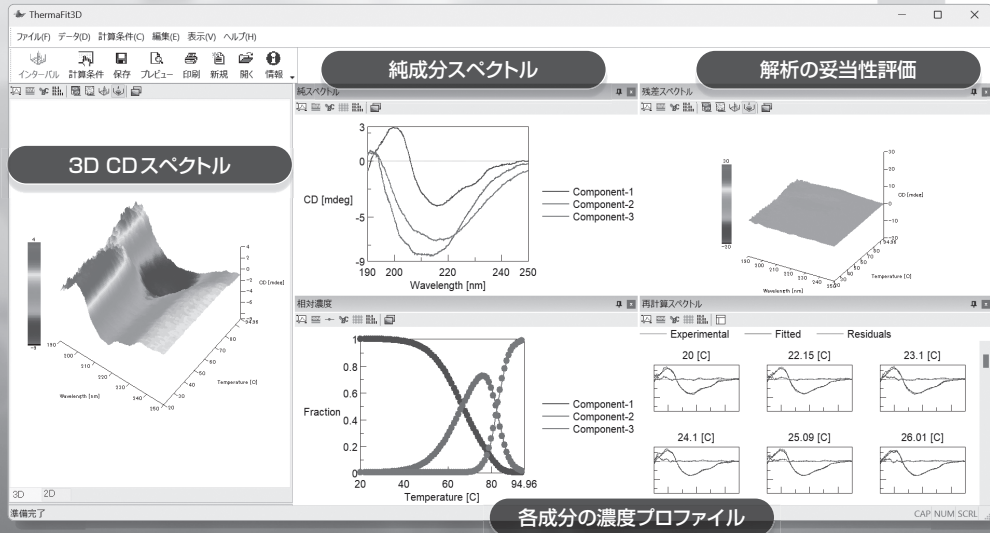
nacalai tesque
The quality for certainty.

ナカライテスク株式会社
〒604-0855 京都市中京区二条通烏丸西入東五丁目498

核酸の複雑な熱変性の過程を捉える新技術

- 単波長のモニターでは無くスペクトル全体の変化から複雑な熱変性過程を解析
- 混合状態で存在する核酸の各高次構造の分離が可能
- 各相転移の熱力学的パラメーターの算出が可能

ThermaFit3D プログラム



各成分の濃度プロファイル

光と技術で未来を見つめる

日本分光

日本分光株式会社
〒92-8537 東京都八王子市石川町2967-5
TEL 042(646)4111 内
FAX 042(646)4120

北海道 S-C 011(741)5285 神奈川 S-C 045(989)1711
北日本 S-C 022(749)1040 名古屋 S-C 052(452)2671
筑波 S-C 029(898)7177 大阪 S-C 06(631)29173
東京 S-C 03(3294)0341 広島 S-C 082(239)4011
西東京 S-C 042(646)7001 九州 S-C 092(688)1931

ISO 9001 ISO 14001



日本分光の最新情報はこちら

<https://www.jasco.co.jp>

日本分光HP



本サイトに掲載されている画像の権利はすべて日本分光株式会
社の所有です。無断で複製・転載・改変を行うことはできません。